



平成25・26年度 練馬区教育委員会教育研究校

自ら考え 表現する力の育成

～学び合い 高め合う 問題解決の活動を通して～
生活科・理科

教育委員会あいさつ

練馬区教育委員会 教育長 河口 浩

知識基盤社会と言われる現代社会において、子供たちの主体的な学びや、生きる力を育むことは学校教育の果たす責務であります。

本校は、平成25・26年度練馬区教育委員会教育研究校として「自ら考え 表現する力の育成～学び合い 高め合う 問題解決の活動を通して～」を研究主題として取り組まれました。生活科・理科における「考える力」を付けるための研究実践を重ね、教師の指導力が高まりました。その結果、子供

たちは自分の思いをもち、友達と伝え合うことで考えがより深まり、実感の伴った理解へとつながる実践的な研究ができたと考えます。今後この成果が、各校の先生方の充実した指導の一助となることを期待します。

結びに、本研究をご指導いただいた元玉川大学教職センター教授 畑中 喜秋先生に心から感謝いたします。また、本研究の成果を挙げられた富澤 素子校長をはじめ教職員の皆様に敬意を表し、あいさつといたします。

あいさつ

練馬区立光が丘四季の香小学校 校長 富澤 素子

本校は、平成25・26年度練馬区教育委員会教育研究校として「自ら考え 表現する力の育成～学び合い 高め合う 問題解決の活動を通して～」をテーマに生活科・理科で研究を推進して参りました。

「自立への基礎」である生活科を全ての教科・領域の土台として意識し、そこでの体験活動を通してより質の高い気付きへと導くために教師の支援を工夫してきました。理科では、問題解決型の学習過程を重視し、ノート指導にも力

を入れました。授業スタイルも「自分で学びタイム」「学び合いタイム」「振り返りタイム」という3ステップとし、定着させてきました。生活科で培った力は、理科や他教科でも生かされています。児童の変容も大きく、自信をもって自己表現できるようになってきました。教師の指導力も向上し、教師同士で高め合うようになりました。

今後も、教職員の思いを一つに児童と向き合い、「自ら考え 表現できる児童の育成」に全力で取り組んで参ります。

練馬区立光が丘四季の香小学校